

令和4年度第2回合同施設長会 資料12

川崎市老人福祉施設事業協会

非常災害時の相互の応援に関する規約

(目的)

第1条 この規約は、川崎市老人福祉施設事業協会の会員たる施設（以下「会員施設」という。）が被災した際、当該施設の要請に応じ、会員施設が協力して応援することについて必要な事項を定め、もって会員施設の運営の継続及び利用者の安全の確保を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この規約において、次の各号に掲げる用語の意味は、それぞれ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 非常災害 暴風、竜巻、豪雨、洪水、崖崩れ、高潮、地震、津波その他の異常な自然現象に起因する災害又は火災その他の人為的災害をいう。
- (2) 被災施設 非常災害により施設の運営を継続することが困難になった会員施設をいう。

(防災責任者)

第3条 会員施設は、相互の応援を円滑に行うため、防災及び非常災害に関する責任者（以下「防災責任者」という。）を置くものとする。

- 2 防災責任者は、防災及び非常災害に関する連絡調整及び情報の共有に努めなければならない。

(防災組織)

第4条 会員施設は、別に定めるところにより、地域を単位とする防災組織として班を編成するものとする。

- 2 班には班長を1名、副長を1名以上置くものとする。
- 3 班長は、班を代表し、その班務を統括する。
- 4 副長は、班長を補佐し、班長に事故があるとき、又は班長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 5 班長及び副長は、班を構成する会員施設の防災責任者の互選により選任する。
- 6 班長及び副長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(相互応援)

第5条 会員施設は、被災施設から施設の運営を継続するために必要な人的、物的な支援、処遇が困難となった入居者の一時的な受入れなど、応援の要請を受けた場合は、可能な限りその要請に応えるよう努めるものとする。

(防災訓練)

第6条 会員施設は、別に定めるところにより、班内訓練、合同訓練その他の訓練を実施するものとする。

(その他)

第7条 この規約を施行するために必要な事項及びこの規約に定めのない事項は、理事会で決定する。

附 則

この規約は、令和4年7月1日から施行する。

「非常災害時の相互の応援に関する規約」制定までの経緯

令和元年 10月 7日 第3回協会事業推進ワーキング

非常災害時の相互援助の取決めは、会員であることのメリットにつながるので、共益的な取組として、相互援助規約の案を検討することとした。

令和元年 10月 12日 市内各所で台風19号による被害発生

令和元年 11月 26日 令和2年度予算要望

「災害時に情報を共有するためのネットワークシステムの導入を要望」

令和2年 2月 20日 第7回協会事業推進ワーキング 規約案を策定

(議事概要の抜粋) <規約案の説明>

相互援助の仕組みを実際に機能させるには各施設に責任者を置き、さらに、地域ごとに防災組織を編成する必要がある。

平時から地域ごとの訓練や複数の地域が連携する訓練を定期的に行い、顔の見える関係を維持することを想定している。

特に班長については、被災した地域から他の地域へ応援を要請する際の窓口として必要と考えている。

⇒ 規約案については、社会福祉協議会老人福祉施設協議会災害プロジェクト委員会と情報共有

令和2年 12月 25日 令和3年度予算要望

「災害時に情報を共有するためのネットワークシステムの導入を要望」

令和3年 4月 E-Welfiss (災害時情報共有システム) を導入 (川崎市)

令和3年 9月 2日 E-Welfiss (暫定版) を用いた情報伝達訓練の実施

令和 4年 2月 16日 災害時等応援職員向けマニュアル (ひな形) の作成
(社会福祉協議会 老人福祉施設協議会)

令和 4年 4月 25日 令和4年度第1回協会事業推進ワーキング
規約案について、正式に理事会に諮る方向で進めることを決定

令和 4年 5月 9日 令和4年度第1回災害プロジェクト委員会
規約案の内容及び規約に基づく今後の取組について確認

令和 4年 5月 17日 第103回理事会「非常災害時の相互の応援に関する規約」承認

想定スケジュール

令和４年 ６月１５日 施設長会

・理事会の報告・各施設長に**防災責任者**の選任を依頼

令和４年 ７月 １日 「非常災害時の相互の応援に関する規約」施行

令和４年 ７月中・下旬 E-Welfiss を用いた情報伝達訓練の実施

情報交換会（班の編成及び班長・副長の選出）

以後、適宜、**班長会議**を開催し、

「防災組織に関する規約（案）」の策定

「相互援助に係る費用の負担例」の検討 などを行う

令和４年 ８月２４日 施設長会

・検討の進捗状況等の報告

令和４年１０月１９日 施設長会

・理事会に諮る「防災組織に関する規約（案）」の確認

令和４年１１月 第１０４回理事会

・「防災組織に関する規約（案）」を提出

(案)

4 川老事協第 号
令和 4 年 6 月 日

施設長 様

川崎市老人福祉施設事業協会
会 長 成田 哲夫

非常災害時の相互の応援に関する規約第 3 条第 1 項の規定による「防災責任者」
の設置について

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、協会事業に御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、事業協会では、非常災害時において会員施設が被災した際、各施設が協力して応援することにより、被災した施設の運営の継続及び利用者の安全の確保を図ることを目的として「災害時の相互の応援に関する規約」（令和 4 年 5 月 17 日 第 103 回理事会承認。以下「相互応援規約」という。）を制定し、令和 4 年 7 月 1 日から施行することといたしました。

相互応援規約では、相互応援の仕組みを実際に機能させるため、各施設に「防災責任者」を置き（第 3 条第 1 項）、さらに、地域を単位とする防災組織として「班」を編成することとしております（第 4 条第 1 項）。

つきましては、各施設におきまして、「防災責任者」に就任いただく方を選任していただき、別紙「届出票」にて事務局宛てお知らせくださいますよう、お願いいたします。

なお、班の編成及び班長の選出につきましては、本年 7 月に予定されております「災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称：E-Welfiss）を用いた情報伝達訓練」の機会を捉え、訓練終了後に班編成のための全体会及び各班別の会議の開催を予定しております。

全体会及び班別の会議につきましては、詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。
よろしく願いいたします。

川崎市老人福祉施設事業協会 事務局
電話 044-812-1231 FAX 044-812-2077
Mail:info@kawasaki-roushikyo.org